

住宅耐震化促進事業補助金交付申請書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れず記入

(申請者) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

(上記代理人) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所

建築 一郎

(連絡先の電話番号 0797-000-0000)

(連絡先のFAX番号 0797-000-0000)

本人申請の場合記入なし。

収支予算書等との整合

芦屋市住宅耐震化促進事業(防災ベッド等設置費補助)を下記のとおり実施したいので、補助金 100,000 円を交付願いたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 事業の内容及び経費区分 (別記収支予算書)

2 事業の着手予定年月日 令和〇〇年□□月□□日

事業の完了予定年月日 令和〇〇年△△月△△日

3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

工事業者との契約予定日を記入  
※交付申請日より後の日付  
※契約は交付決定日以降に行う必要があります

工事代金の  
支払予定日を記入

別 記

収 支 予 算

補助対象金額を記入  
 補助事業における消費税及び地方消費税相当額が仕入れに係る税額控除の対象となる事業主体の場合、補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額を補助事業に要する経費から減額

1 収入の部

科目	予算額	摘要
補助金	100,000円	
自己資金	200,000円	
計	300,000円	

2 支出の部

科目	予算額	摘要
防災ベッド等設置費	300,000円	全体見積額 400,000円
計	300,000円	

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致する。 補助対象外工事も含めた額
- 2 補助金は、見込み額を記入する。
- 3 支出の部の摘要欄には補助対象外も含めた額（契約額）を記入すること。
- 4 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

住宅概要書

補助対象		□建替・■防災ベッド	
申請者等	申請者氏名	芦屋 太郎 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
	申請者住所	〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7番6号	
	所得	令和〇〇年度所得 〇〇〇, 〇〇〇 円	
(防災ベッドを 設置する住宅) 除却する住宅	所有者氏名	芦屋 太郎、芦屋 花子 (申請者との関係 本人、実母 )	
	居住者氏名※	芦屋 花子 (所有者との関係 実母 )	
	所在地	兵庫県芦屋市精道町111番1号	
	築年月	昭和50年4月1日	
	構造・階数	構造 木造 階数 2階建て	
	耐震診断結果	「危険」・「やや危険」(評点又はIs値 0.5 )	
(防災ベッドの 場合記入不要) 新たに建築する住宅	所有予定者		
	居住予定者		
	設計者	氏名 建築士資格 ( )	
	耐震基準 適合証明者	現行の建築基準法に適合していることを証明します。 氏名 建築士資格 ( )	
	工事費見積額	合計	円
		内訳 除却費 ( ) 建築費 ( )	
	工事完了予定 年月日		
(建替の場合 記入不要) 防災ベッド	製造者・名称等	製造者 〇〇〇 ・ 名称等 △△△	
	設置費見積額	400, 000円	

※居住者は代表者

実績報告書（防災ベッド等設置費補助）

様式第7号（第11条関係）

受付窓口へ提出する日付を記入

令和〇〇年▽▽月▽▽日

住宅耐震化促進事業実績報告書

芦屋市長 宛

郵便番号も忘れずに記入

(申請者) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏名 芦屋 太郎

(上記代理人) (〒659-8501)

住所 兵庫県芦屋市精道町〇番〇号

氏名 (株)精道建築設計事務所  
建築 一郎

(連絡先の電話番号 0797-000-0000)

(連絡先のFAX番号 0797-000-0000)

交付決定通知日と番号を記入

令和〇〇年××月××日付け×××第1234号をもって交付決定のあった、芦屋市住宅耐震化促進事業に係る工事を下記のとおり実施したので、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第11条の規定により、その実績を報告します。

交付申請書に記載した日付を記入

記

- 1 事業の内容及び経費区分 (別記収支決算書)
- 2 事業の着手年月日 (令和〇〇年□□月□□日)  
令和〇〇年◎◎月◎◎日  
事業の完了年月日 (令和〇〇年△△月△△日)  
令和〇〇年##月##日

実際の契約日(契約書の日付)、代金支払日(領収書の日付)を記入  
契約日は交付決定日以降の日

- 3 添付資料 芦屋市住宅耐震化促進事業実施要領の別表のとおりとする。

別 記

注意！決算書です

収 支 決 算 書

補助対象金額を記入  
補助事業における消費税及び地方消費税相当額が仕入れに係る税額控除の対象となる事業主体の場合、補助金に係る仕入れに係る消費税等相当額を補助事業に要する経費から減額

1 収入の部

科目	予算額	摘要
(補助金) 補助金	(100,000円) 100,000円	
(自己資金) 自己資金	(200,000円) 200,000円	
( )	( )	
( )	( )	
計	(300,000円) 300,000円	

2 支出の部

科目	予算額	摘要
(防災ベッド等設置費) 防災ベッド等設置費	(300,000円) 300,000円	全体見積額 400,000円
( )	( )	
( )	( )	
( )	( )	
計	(300,000円) 300,000円	

- (注) 1 収支の計はそれぞれ一致  
2 申請内容を上段に ( )  
3 支出の部の摘要欄には補  
4 業者からのキャッシュノ  
対象外となる。

合計金額は、契約書・領収書記載の金額と同じになります。  
※契約書と領収書の金額は同じである必要があります。

記入すること。  
直引き額は補助

写真 No. 1 工事箇所 No. ①

工事内容 (構造用合板等補強：改修前)

写真 No. 2 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱頭左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 3 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱頭右)

写真 No. 4 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱脚左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 5 工事箇所 No. ①

工事内容 (接合部補強：柱脚右)

写真 No. 6 工事箇所 No. ①

工事内容 (構造用合板補強：受材設置)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

※ この用紙をコピーの上、お使いください。

(第 2 面／○○面)

※その他工事として屋根工事、室内完成工事、外観完成工事など各工程で写真を添付してください。(上記撮影箇所はあくまで記入例ですので、可能な限り撮影してください。) 工事写真の撮り忘れ等により必要な書類を提出できなかったり、交付決定時の工事計画と実際の工事が異なる場合等は補助金の交付が受けられない場合があります。

## 住宅耐震化促進事業補助金請求書

金 100,000 円也

記入しないこと。

ただし、芦屋市住宅耐震化促進事業補助金

<根拠>	補助金交付決定通知	[ 令和 第 年 月 日 号 ]
	補助金交付決定変更通知	[ 令和 第 年 月 日 号 ]
	補助金確定通知	[ 令和 第 年 月 日 号 ]

上記のとおり、補助金を精算（概算）払いによって交付されたく、芦屋市住宅耐震化促進事業実施要綱第15条第1項（第2項）の規定により、請求します。

年 月 日

記入しないこと。

芦屋市長 宛

(〒659-8501)

住 所 兵庫県芦屋市精道町7番6号

氏 名 芦 屋 太 郎

印

振 込 先

金融機関名	〇〇銀行	支店名	〇〇支店
口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	預金種類	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 貯蓄
フリガナ	アシヤ タロウ		
口座名義（漢字）	芦屋 太郎		